



ツキビズキャンプとは？

約1か月半をかけて、月形町について学び、起業の知識を身につけながら月形町で起こす事業案を考え、最終日には町内でプレゼンテーションを行います。

起業に詳しい専門家、講師、仲間たちと共に事業案を深め、実際の起業に繋がります。

応募期間

2025年8月26日(火)～9月30日(火)

事業について全く知らない人でも大歓迎！



事業や起業に少しでも興味があったらぜひ参加ください！

町民のみなさまのご参加をお待ちしています！



昨年も
月形町在住者の
2名にご参加
いただきました



斎藤 真季さん
酪農家



佐藤 祥子さん
保育士

詳しくはこちら



公式Webサイト

ツキビズキャンプ1期は16名、2期は11名を選考して実施しました。約1ヶ月半のプログラムの中で、参加者やスタッフの間で月形町を軸としたコミュニティができたことが、最大の成果と言えます。

このコミュニティが、毎年回を重ねるごとに大きくなることで、地域にもたらす効果は絶大です。プログラム実施後も、メンターやスタッフのアフターケアが功を奏し、以下のような事業がスタート、または準備段階にあります。

第1期

大塚 裕介さん



北海道芸術デザイン専門学校教員。月形刑務所や花農家と連携してプログラム作成、月形高校との連携も行う。長期的に月形町と関わる予定。特に専門学校と月形高校の架け橋となっている。

関 健吾さん



札幌で飲食店などを経営。米粉を使った月形のお菓子を作り「道の駅275つきがた」で販売を開始。空家を活用した店舗を計画中（内容は未定）。

西岡 佳子さん



北海道大学医学部4年。月形町で事業「ツイデニ」の実証実験中。「まちのいりぐち」というコミュニティも作り、まちの若手からお年寄りまでのコミュニティを作り、ちょっとした「困った」を解決すべく活動中。

田中 健太郎さん・田中 亮蔵さん



兄の健太郎さん（写真右）は2023年11月より地域おこし協力隊として、農業実習中。弟の亮蔵さんは現在東京の企業に勤務しているが、将来的には月形町に移住し兄と一緒に農作物の輸出等をしたいと考えている。

第2期

森田 拓愛さん



月形町出身。北海道産ジギスカンの魅力を広めたいとの想いから、昨年大手電機メーカーを退職。現在は帯広畜産大学に在学し、将来のUターン就農に向けて羊飼いとての修行に励んでいる。

鎌田 あゆみさん



2児の母。ママが自分に戻るサービス「Re:Mom（リ・ママ）～今日はママじゃありません～」を考案。伴走支援賞を獲得し、ツキガタアートヴィレッジなどで実証実験中。

斎藤 真季さん



月形町在住の酪農家。黒毛和牛の母牛の新しい可能性を探り、放牧牛の販売に挑戦している。今年の秋には第一弾となる放牧牛を屠畜し、レストランなどでの活用を試験的に行う予定。

佐藤 祥子さん



月形町在住。「月形町で働く人に休憩の場を提供する」をテーマに、自宅1階を活用したカフェの開業を予定している。おいしいコーヒーを楽しめる憩いの空間を目指す。

参加者の現在

